

1. スタッフ

部長 大坂芳明 整形外科専門医・リウマチ認定医・脊椎脊髄外科認定医・感染制御認定医・大阪医科大学臨床教育助教授・臨床研修指導医  
副部長 森川潤一 整形外科専門医・リウマチ認定医・大阪医科大学臨床教育助教授  
医員 吉村弘一郎  
森拓美

2. 主要手術症例

脊椎手術 16例 骨接合術（上肢・57例 下肢・27例） 大腿骨転子部・頸部・46例 人工関節 16例 末梢神経手術 13例 など年間300例

3. 研修期間

研修期間は3年

4. 目標

（一般目標 GIO）

初期研修で得た医学知識・臨床技術・医療者としての態度をさらに成長させて、整形外科のスペシャリストとなる。整形外科疾患について診断、手術も含めた治療をするための知識と技術を獲得し、整形外科専門医となるための研修もする。

（行動目標 SBOs）

- 1) 外来や入院患者から必要な問診を取れる。
- 2) 開放性骨折などの緊急処置が必要な事態での、基本的な処置が行える。
- 3) 医療面接において、患者や家族と信頼関係が築ける。
- 4) 必要十分な身体診察を行える。
- 5) 必要な検査の選択と結果の解釈を臨床的手順に沿ってできる。
- 6) 前期研修医の相談事項を正確に判断し、適切にアドバイスができる。
- 7) 疾患に対して保存療法か手術療法か的確な検査及び結果により判断できる。
- 8) 患者の社会的環境までも含めた因子で総合的に治療法の選択ができる。
- 9) 手術療法時に必要な器具を選択・準備できる。
- 10) 基本的な手術の執刀ができる。
- 11) 積極的にカンファレンス、レクチャーに参加する。
- 12) 公的な学会、研究会に参加・発表する。
- 13) 日本整形外科専門医、リウマチ医、脊椎脊髄外科医などの専門医取得を目指す。

5. 方略

外来 午前診のみ  
病棟 外来日以外  
手術 火・金曜日 その他緊急手術  
勉強会・カンファレンス。学会

6. 評価

- 1) 病棟や外来での診察を、スタッフがチェックする。
- 2) 学会発表の予行演習にて内容をチェックする。
- 3) 随時看護師、技師（リハビリ、レントゲン、検査など）に評価してもらう。